

大城ひかるのベトナム

通信

-14-

シンチャオ
(Xin chào)
おきなわ



間口が狭く奥行きが長いベトナムの建物。上の写真は4棟が連なっている（筆者撮影）

赴任したばかりの日本語教師には優先してやることがあります。第一に社内のあいさつ回り、第二に健康診断、第三に総領事館に行くことです。それと並行して、部屋探しをします。日本にいるうちに家賃や広さなどの条件を提示してあるの

で、サポートしてくれるアルバイト学生が事前によくつか部屋を見繕ってくれており、実際に見に行く時は同行して大家さんとの通訳をしてくれま

す。前回お話しした通り、ほとんどは1週間以内に部屋を探し生活を始めるのですが、私はなかなか見つけることができませんでした。最大の理由は手ごろな家賃で、開放感のある部屋に出会えなかったことです。

ホーチミンの建物は一般的に間口が狭く奥に長い作りになっており、しかも両隣の家と文字通り壁がくっついています。長方形の横2面が壁なので、昼間でも薄暗い部屋が少なくありません。突き当たりの奥に窓があった

何はなくとも楽しい我が家

り、明かり取りの小窓があったりしますが、サイズの大小を問わず、防犯対策のために面格子がついています。それが気にならない、むしろ安心という人もいるのでしょうが、そのような部屋にいと私は閉じ込められた気になります。ドアの向こうで火事が起こったら逃げることができません。どうも私には閉所恐怖症の気があるようで、沖縄の友人に「クルーズ船で世界旅行をしたい」と聞いた時も、逃げられない船に何日も乗るなんて、私には無理と思ってしまいました。

今の部屋を見に来た時も、あまり期待していませんでした。それまでたくさんのお物件を見て何度

も裏切られてきたからです。店を突っ切った出入りするとも、建物の中にある薄暗い階段もマイナスでした。

ところが、ドアを開けて部屋に入った瞬間、太陽の明るい光がパッと目に入り、涼しい風が体を吹き抜けていったのです。隣が平屋のスーパーなので、3階のその部屋の一面には窓があり、奥には通りに面した広いバルコニーがありました。スマホの方位磁石で確認したら、窓は北向き、バルコニーは東向きです。心の中で「さいこー」と叫びながら、家賃を聞く

と、これもまた安い。喜びで体が震えるのを感じたほどです。

部屋には家具一つなかったのですが、もはや何も気になりませんでしたが、キッチンをつけられるか聞いたら、「シンブルキッチンなら」との答え。それがどんなものなのか想像もつきませんでした。OKと答えました。風呂場に電気温水器をつけられるか聞くと「家賃20万ドンアップ」と言われましたが、これも快諾。ベッドがないか聞くと、シングルが余っているというので、ありがたく借りることにしました。

「1か月もかけてここ？」と同僚に言われたのは、風呂場が部屋の外にあるからです。一度、バスロープを巻いた風呂上がりの姿で向かいの住人と鉢合わせしてしまいました。が、のれんを下げて解決。間借り人が私しかいなくなった今、快適以外の何ものでもありません。吟味して部屋を決めて本当に良かったと満足しています。

ご意見・ご質問をお聞かせください。oshiro@kaizen.edu.vn